

わが市わが町 平塚市

平塚市は神奈川県沿岸に面した中央南部に位置し、市域6,788haのうち森林面積は約7%であり、森林面積の大多数は里山と呼ばれる天然林が占めています。人工林は森林面積の約8%のみであり、その大多数が砂防林等の保安林です。そのため、本市で木材利用を目的とした人工林はなく、市内森林にて林業を営んでいる者はいません。

森林の少ない本市においても、山に近い地域においては、イノシシ等の野生鳥獣による人的被害や農作物被害の対策が課題となっています。これは、高齢化等により適切な管理ができていない林地や農地が増加したこと等により、里山に住む野生鳥獣の行動圏が広がったことが主な理由だと考えられます。

このことから、本市では「平塚市鳥獣被害防止計画」を定めて、平成28年度から森林や隣接する農地にイノシシの侵入防止を目的とした鉄柵（ワイヤーメッシュ柵）の設置を進めています。県（かながわ鳥獣被害対策支援センター）の協力のもと、地域住民とともに3年間で

2か所への鉄柵の設置を完了しました。



△平成30年度に設置した鉄柵

鉄柵の設置は県や地域住民と協議を行いながら、設置ルート決定、林地や農地の地権者との合意形成、林地での枝払いや刈払い、資材の搬入、設置作業の順に実施します。設置工程中、特に枝払いや刈払いは、設置場所や作業道の確保により安全な作業につながるだけでなく、森林内に自然光が差し込み、見通しが良くなることで鳥獣が近寄りにくくなる効果があります。

鉄柵はイノシシが森林の外へ出にくい状況を作り出す効果がありますが、これに併せて効果的に被害を減少させるために、わなによる捕獲を実施しています。本市では「箱わな」と呼ばれる鉄製の檻による捕獲と併せて、獣道に設置して足を引っかける「くくりわな」による捕獲を進めています。捕獲

及び処分は市と地元猟友会、農業協同組合が協力して結成した「平塚市有害鳥獣対策実施隊」が実施しています。



△箱わなで捕獲した野生のイノシシ

防除や捕獲をより効果的に実施するために、令和元年6月に県と協力して被害報告が多い地区においてドローンによる空中写真撮影を行いました。これにより得られた情報を活用して、より効果的な被害対策に取り組む予定です。



△ドローンを活用した撮影風景

今後も野生鳥獣の行動圏が広がると、被害が拡大するだけでなく、森林の適切な管理の実施ができなくなるおそれがあります。

野生鳥獣被害への対策については、これからも本市の課題として取り組んでいきます。

（平塚市産業振興部農水産課）